



自宅の目の前に太陽光発電施設が・・・

太陽光発電施設のあり方について考える会 千葉市緑区 林 みね子

私は千葉市緑区に住んでいます。周辺は里山景観が広がる緑豊かな地域です。私はここで育ち、自宅を開放して福祉活動を20年間続けてきました。障碍を持った方たちと芸術活動を通じて自己表現を豊かにし、社会参加をすすめていく取り組みです。そこに突然8年前の2013年、我が家の2軒先の住宅に隣接して太陽光発電施設が作られました。

事業者による説明会は無くチラシ「工事着工のご挨拶」が投函されました。

道路は住民の共有地で生活道路ですが、工事が始まると断りもなく大型トラックが頻繁に通るようになりました。当初の約束も何もなく、工事工程表の提出を求めたら実に簡単な日程表(工事名称、業者名、工事日)を渡され、あれよあれよという間に98Kw規模の施設が建設されてしまいました。このあたりは皆50年も前からここに住み静かに暮らしてきましたが、お年寄りが多く、声をあげることもままなりません。

脱炭素社会実現のために再生可能エネルギーを普及させていくことは大切ですが、だからといってどこにでも建設していいというわけではありません。

そんな中、2020年2月16日「太陽光発電所工事に伴う近隣説明会」がありました。我が家の自宅前の土地所有者A氏(個人)が102Kwパネルを設置したいということでした。「住民が静かに暮らしている住宅10軒のど真ん中に建設は認められない、2013年設置のパネルと合わせれば200Kwになります。福祉施設に隣接した建設はふさわしくない」と、私は

すぐに「千葉市緑区の太陽光発電工事に対する要望事項2020/5/16付」を町内会長に提出しました。しかしその後発電事業者A氏からは何の連絡もありませんでした。

これ以上の発電施設建設は受け入れられないとの思いであちこちに相談し、賛同してくれた仲間と2021年3月「太陽光発電施設のあり方について考える会」を立ち上げました。ちょうど千葉市長選挙を控えていたので、3人の市長候補者に公開質問状を送りました。

どの候補者も「千葉市内における太陽光発電設備では、古くからの住宅地や景観の美しい里山に隣接するなど、不適切な建設が目立ち始めていること」を知っており、「太陽光発電施設設置に伴う諸問題を解決するため条例を制定して、安全・安心を確保すべきである」との回答でした(結果はHP https://peraichi.com/landing_pages/view/satoyama2021 をご覧下さい)。

その後、2021年3月25日、太陽光発電施設分譲販売会社B社のC氏とD不動産E氏が周辺の公図とドローン写真を持参して突然我が家にやってきました。昨年説明会を開いたA氏が土地を売り、B社がパネルを設置する計画があるようです。

こうした問題は我が家だけではありません。住宅地に隣接した太陽光発電施設の建設について議論を深め、適切な規制を盛り込んだ太陽光発電施設設置に関する条例制定に向けて声をあげていきたいと考えています。

家庭における使い捨てプラスチック④

—浜辺のプラスチックごみを減らすために—

習志野市 岡崎 今日子

同じ生協に所属するメンバーと、環境について考え行動する「エコとアースの会」という会を作り参加しています。環境というテーマが無限大ですが、ここ数年のテーマは「プラスチックごみ」。主に浜辺のプラスチックごみを減らすために何ができるのか、毎月メンバーで集まって考えています。多くの方に、浜辺のプラスチックごみの現状を知っていただきたく、今年度の2つの大きな活動を紹介しま

す。

一つが浜辺のクリーンアップ。10月に生協の組合員にも呼びかけて、ポートパーク下の浜辺に集まりました。30分ほど子どもも大人も黙々とゴミ集め。その結果集まったのはお菓子の包装袋、たばこのフィルター、洗濯ばさみなど・・・そして紫外線で細かくなった5mm以下の「マイクロプラスチック」、さらに、同じく5mmほどの丸いビーズのような「レジ

ンペレット」です。

この「レジンペレット」東京湾の浜辺には無数に落ちていますが、あまり知られていないように思います。実はこれはプラスチックを作るための原料なのです。なぜ浜辺にプラスチックを作るために原料が?!それはこれからの千葉市の調査で明らかになる予定です。



大人も子どももしゃがみこんでプラスチックを拾いました

もう一つの活動は千葉市に「プラスチックごみ削減にむけて」の要望書を提出したことです。要望の内容は「プラスチックの使用量を減らすためのお願い」と「プラスチックごみを減らすためのお願い」です。「使用量を減らす」ために、市庁舎内の職員の意識改革、市民が利用できるウォーターステーションの設置、過度なプラスチック利用を見直すことを市民に発信してほしいとお願いしました。

「ごみの削減」については、レジンペレットがなぜ砂浜に広がっているのかなど、ごみの調査と、ビーチクリーン活動への支援をお願いしました。現在千葉市では3つの団体が定期的にビーチクリーンを行っていますが、横の連携がなく市民が気軽にビーチクリーンに参加できる環境作りが大切だと感じています。



今回の要望では、行政ばかりにお願いするものではなく、市民も共に行動することが大切だと考えています。持続可能な社会が未来に向かって広がっていくように、きれいな浜辺を取り戻すためにできることにこれからも取り組んでいきます。

千葉市からの回答については、また機会がありましたら報告させていただきます。

意外と知らないカタツムリの謎 その8

—小笠原のカタツムリが危ない 侵入者の驚異 オガサワラオカモノアラガイ—

①東京都小笠原村

小笠原は東京から南へ約 1000km に位置する大小 150 程の島々から構成されています。太平洋戦争による住民の本土への強制疎開、その後のアメリカによる占領統治（1945年の終戦から1968年6月の施政権返還まで）が有り、現在人が住んでいるのは父島と母島のみです。小笠原のように島の成立以来大洋中に孤立して存在し、一度も周囲の大陸と陸続きになったことが無い島を大洋島とよんでいます。大洋島に定着した祖先種は、隔離された状態で長時間独自の進化の道を歩む事になるので、新しい種に変わる場合も出てきます。



図1 固有種 オガサワラオカモノアラガイ

千葉県立若松高等学校 四街道市 入村 信博

大洋島では様々な生物のグループで「固有種」の占める割合が高くなりカタツムリの仲間も同様です。

②ヤギ、野生化の悲劇?

東京から 1000 km も離れた小笠原にも、明治時代から多くの人々が入植しカタツムリの生息地の森林が拓かれるようになりました。ヤギが野生化し、草木を食べ尽くす事も確認され、湿気が無くなった場所が少なくなり、移動能力が低いカタツムリは、次々と姿を消して行き、その影響で6割の種が絶滅したといわれています。



図2 ニューギニアヤリガタウズムシ

③カタツムリ天国だった小笠原に驚異の侵入者が…

小笠原は、カタツムリ仲間の固有種の宝庫です。確認されている134種の内、100種は小笠原固有種です。その中でも特徴的なカタツムリを



図3 肉食プラナリアが固有種を襲う

紹介します。湿度の高い森に住むため乾燥から身を守る殻が小さく触角もユニークで、現在は母島にしか確認されていない、「オガサワラオカモノアラガイ」といいます(図1)。これら貴重な陸産貝類を食べる「ニューギニアヤリガタウズムシ」が30年ほど前に父島に入り込んできました。分類上はプラナリアと同じく「扁形(へんけい)動物」というグループに属する1~5cmの細長い体をしています(図2, 3)。

④今、我々にできることは……?

現在、この「ウズムシ」が父島以外に出ないように

することは、小笠原固有のカタツムリを守るために大変重要なことです。父島から「ニューギニアヤリガタウズムシ」を持ち出さないために、以下のような対策が行われています。その1:靴の泥を落とす。靴に付いている泥の中に「ニューギニアヤリガタウズムシ」やその卵が含まれている可能性が有ります。その2:洗った靴を海水に浸す。「ニューギニアヤリガタウズムシ」は、塩分や乾燥に弱いと言われています。カタツムリは環境の変化に敏感で、環境変化の指標となります。固有のカタツムリの絶滅は、小笠原の豊かな自然環境の破壊を意味すると言えるでしょう(図2、3は森林研究所ホームページ資料より引用)。



図4 今、我々にできる事は何?

新浜の話38 ~東京湾洋上大学~

1985年11月、東京工業大学の華山謙教授の提唱で、「東京湾洋上大学」という催しが開かれました。これは、船で東京湾を巡りながら環境問題についてのシンポジウムを行なうというものです。たしか竹芝栈橋と富津を結ぶ航路の客船1隻を借り切り、夜は横浜沖あたりに停泊して船内でシンポジウム(船内泊ですが、どこかで眠ったかどうか記憶にありません)、夜が明けてからは湾内を一巡して、東京湾の現状を見学するというものでした。

田尻宗明、宇井純といった公害問題の最先端の指導者・闘士の方々、大浜清、大野一敏、藤原寿和氏ほか、錚々たる方々が参加されています。私は東邦大の風呂田先生のご紹介で、事例発表という形で参加させていただきました。宇井先生や大野さんにお会いしたのはこの時が初めて。とても刺激的で、貴重な体験でした。報道関係の方々の参加がなかったのか、またとりまとめ等の報告がなかったのか、この東京湾洋上大学をネットで検索してもほとんど記載が見つかりません。

華山先生とは面識も接点もなかったのですが、洋上大学開催の後ほどなく、なんと翌12月に焼身自

千葉県野鳥の会 市川市 蓮尾 純子

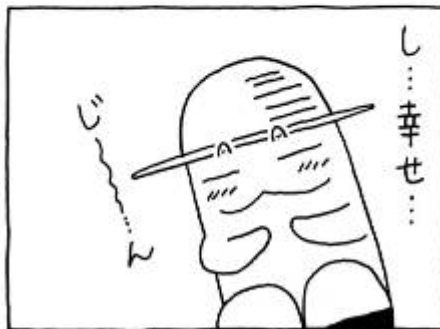
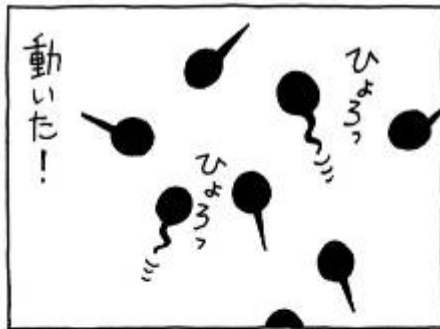
殺されるという痛ましいできごとがありました。あのような有益な機会をくださったことに感謝し、心からご冥福をお祈りいたします。

私の事例発表は行徳での現況。水鳥の保護区であるからには、何よりも欲しい淡水の供給源、そして八方ふさがりの水の事情といったことでした。埋め立てによっていったん壊された干潟や湿地という環境を復活しようというのは、ばらばらに裂いた布をもういちど織りなおすような作業だとお話しした覚えがあります。この時、会場におられた宇井先生からの質問というか提言がありました。

「少し汚れた水というのは、生物にとっての餌資源として利用できる可能性がある。そうした方策を検討されたらいかがですか」

目からウロコが落ちるというのはこうしたことを指すのでしょうか。生活排水でまっ黒に汚れた水が何とかならないか・その一方では水鳥のためには淡水源が必要—この二つを結びつけるという考えが、この時初めて芽生えたのだと思います。

宇井先生は、この年のうちに行徳を見に来てくださいました。



つやまあきこウェブサイト
21世紀絵コロッジ http://www.21eco.net

あいかわらず汚れきった丸浜川を見て、「汚れた水というのは、酸素さえあればよみがえるもの、については浜松などでウナギ養殖に使われている養魚用水車を導入することで生き返る可能性がある。栃木県で私が提言したやり方で食肉工場の廃水を浄化しているところがあるので、実際にどんなものなのか、見に行ってみたらどうか」というアドバイスをされました。

翌年1月13日だったか。故鈴木有・故寺田一哉・蓮尾純子ほか、中心メンバー4、5人が宇井先生提唱の浄化システムを実践している栃木県のタキザワハム泉川工場の見学に行きました。栃木県は河川の最下流部で海に面した千葉県や東京都とは異なり、使った水は川に戻され、いくつもの県で飲み水としてもくりかえし利用されることになります。水の浄化の取り組みも半端ではありませんでした。

当会へのご寄付が 寄付金控除の対象になりました

～千葉市まちづくり応援寄附について～

NPO法人 ちば環境情報センター会計 高橋 久美子

千葉市は、昨年まちづくり応援寄附（ふるさと納税の1つ）という制度をつくりました。寄附すると所得税や住民税の控除が受けられます。この対象団体に、ちば環境情報センターも登録されました。

ただし、金額は2000円を超えた額に対する控除となります。2000円では控除になりませんのでお気をつけて下さい。また、ちば環境情報センターを指定する必要があり全額が当会に振り込まれます。なお返礼品などはなく、お礼状を差し上げる程度になりますので、ご了承下さい。

今後はこの制度を利用して、ちば環境情報センターへのご寄付を是非よろしく願いいたします。

【寄附の仕方】

①インターネットで申し込む方法

PCなどで「千葉市まちづくり応援寄附金」で検索します。インターネットで申し込む方は、「ふるさとチョイス」をクリックします。

「お礼の品不要の寄附をする」をクリックします。必要事項を記入します。会員登録しなくても寄附できます。お金の支払いは、クレジットカードでも使えますし、コンビニ支払いも可能です。

②インターネットを使わない方へ

申込書をダウンロードまたは市役所等でもらいます。

または、当会にご連絡いただければ、郵送します。

申込書に必要事項を記入します。

お金は現金書留で送ることもできますし、直接、市役所8階市民自治推進課にもっていくこともできます。

千葉市から渡される受領書をもとに確定申告をすることになります。

【発送お手伝いのお願い】ニュースレター2021年5月号（第285号）の発送を5月7日（金）10時から千葉市民活動支援センター会議室（千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館9階）にておこなう予定です。ただし新型コロナ感染の拡大状況によっては中止する場合がありますので、お手伝いいただける方は事務局（小西 090-7941-7655）までご連絡ください。

編集後記：3月31日、蘇我火力発電所（LNG）計画が中止になった。脱炭素社会実現には大歓迎だ。一方千葉市若葉区や緑区では、住宅地へのソーラーパネルの設置が目立つが、周辺への配慮を促す指導はなく条例が必要だ。資産活用を勧める業者による売り込みが多いようだ。当会も「太陽光発電施設設置のあり方について考える会」の活動に参加することとした。

mud-skipper ♀

第 191 回 小山町 Y P P 「苗代作り」 2021 年 3 月 27 日(土)

報告：赤シャツ親父

早朝から夕方にかけて、あすみ小田んぼ、大椎小田んぼ、YPP 田んぼ、および個人田んぼの順に、計 5 本の苗代を組み、数日前から浸種させておいたコシヒカリ、古代米 2 種(黒米、赤米)の種籾を蒔きました。今年度は新たに土留めとして、おだにて使い古した竹にて枠を組み基部に沈める方法を試みました。小山の田んぼは水が豊富な上水量変化も多く、泥も柔らかいため、過去に種籾の水没・流出の失敗を経験して来ました。新たな方法では、やわらかな土を盛る作業も容易な上丈夫なため、安定した環境を維持してくれるものと期待されます。きっと元気な苗が育ってくれるでしょう。

参加 3 名 (大人 3 名)

※SAKE BASE の酒米(山田錦)の苗代も同月下旬に始動したもようです。

dancyu 編集部による 3 団体合同取材 2021 年 3 月 28 日 (日)

報告：赤シャツ親父

小山で活動する SAKE BASE の酒米作りを紹介したプレジデント社「dancyu」編集部記者、里見氏の要望により、小山町で活動する 3 団体(小山 YPP、土気 NGO、SAKE BASE)合同取材が土気 NGO 古民家にて行われました。dancyu では今後も SAKE BASE の紹介記事を計画しているとの事、小山で活動する先輩団体の活動背景や、SAKE BASE との係りを理解し、より正確で良い記事の作成に生かしたいとの意図があるものと思われる。赤シャツ親父からは、水源である山と田んぼがコンパクトにまとまっている上保全され、街が隣接し学校活動ともつながりがある、地理的、および社会的に特徴のある環境にて、活動を継続し、長年積み重ねた地主様との信頼関係が、彼らの活動を受け入れる素地となっているだろう。。等々、様々な見解を語りました。

参加 7 名 (大人 7 名)

【谷津田・季節のたより】

下大和田町 3月15日 つくし摘み佃煮風にして春を味わう。

報告：網代春男

3月23日 シオヤトンボ発生、ヤマザクラ咲き始める(早い)。

3月25日 クサイチゴ、ツボスミレ、ムラサキケマンなど咲き出す。アマナは満開。

小山町 3月初旬 ウグイス旺盛に囀る、コジュケイ、アカハラは度々こんにちは。(赤シャツ親父)

3月中旬 10日頃よりシュレーゲルアオガエル活発に鳴く。セグロセキレイ久々にやってきて盛んに活動。コジュケイ、キジ相変わらず忙しそう。あざみ谷にもイタチ出現。

3月下旬 アオジ、アカハラ未だによく見かける。リスさんも出現。

【イベントのお知らせ】

<下大和田谷津田>

・森と水辺の手入れ

日時：2021年 4月18日(日) 9時45分~12時 雨天中止

持ち物：マスク着用、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、軍手、午後まで活動する方は弁当、敷物。

参加費：無料

・第 256 回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い

春の花や生きものを観察しながら谷津を巡ります。

日時：2021年 5月 2日(日) 9時45分~12時 雨天決行

持ち物：マスク着用、筆記用具、飲み物、長袖長ズボンの服装、長靴(通常の)、帽子、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当、敷物

参加費 100円(小学生以上)

・第 262 回 下大和田 Y P P 「田おこし」、第 263 回 下大和田 Y P P 「田うえ」

日時：田おこし 5月8日(土)、田うえ 5月15日 9時45分~14時 小雨決行

持ち物：マスク着用、長袖長ズボンの服装、田んぼ用長靴、帽子、ゴミ袋、飲み物、弁当、敷物。

参加費：米づくり年間参加者以外 300円(小学生以上)

<小山町谷津田>

・第 192 回 小山町 Y P P 「苗代作りその 2」

バックアップの苗代、およびあざみ谷にて緑米の苗代を作ります。

日時：2021年 4月 4日(日) 10:00~ ☆小雨決行

場所：りんどう広場 ※ 一般の方の参加も若干名受付ます。

参加ご希望の方は、赤シャツ親父 (e-mail: tomizo_i@nifty.com)までご連絡下さい。

